

【オリコンサルグローバルがコンサル担う インドネシアでLRT 開業】

インドネシア  
でLRT開業

オリコンサルグロー  
バルがコンサル担う

インドネシアの首都ジャカルタで28日、ジャボデベックLRT（次世代型路面電車）



車両の走行試験

の開通式が開かれた。会場のチャワン駅にはジョコ・ウィドド大統領やプテイ運輸大臣ら多くの同国政府要人が参加した。

日本のコンサルタントとして初めて約2900億円近い非ODA（政府開発援助）事業の全ての土木構造物、軌道設計、列車運行システムの設計精査、施工監理、契約監理を担当したオリエンタルコンサルタンツグローバルの米澤栄二社長も出席し、ジョコ大統領から感謝とねぎらいの言葉が掛けられた。写真。同LRTは、ジャカルタ首



都圏地域の慢性的な交通渋滞に伴う大気汚染や交通事故の増加などの課題解決のため、2015年にジョコ大統領が国家戦略プロジェクトとして

国営建設アディ・カリアに特命発注。同年9月から、中央ジャカルタのドゥクアタス駅を基点とする全3路線、総延長44.41kmの設計・施工が実施された。同国初の無人自動運転で、全ての運行管理は車両基地に設けたオペレーション・コントロール・センター（OCC）で管理される。

オリコンサルグローバルは、ローカルコンサルタンツ数社と構成するOC-JIR共同企業体の代表として、設計精査と施工・契約監理を担当。これらの実績は同国内でも高く評価され、22年アジア土木学会賞を受賞している。